わかやま母親通信

生命を生みだす母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第１１２号　*2024年2月24日発行*

発行　和歌山県母親大会連絡会 事務局　和歌山市小松原通3の20和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261　FAX073-436-3243　母連メール：w_haharen@wkn.or.jp

HP 和歌山県母親大会

「核戦争の危機から子どもたちを守ろう」と歩み続けて

敗戦から１０年、大国の核実験が繰り返される中で、女性たちは、新しい憲法が明記した「男女平等」の条文に背中を押されて、「核戦争の危機から子どもたちを守ろう」と世界に呼びかけ、日本中に母親大会の種をまきました。

「母親」の名を冠した会には、「もう二度と戦争で子どもや家族を失いたくない」と、多くの母親たちが集いました。それは、「夫に仕え、家事と育児と介護が女の役目」として強いられてきた社会の縛りから、自らを解く行動でもありました。

以来、７０年間歩み続け、平和を守る行動の中で、多くの要求を実現してきました。世界が戦争・紛争で混沌とする今、「戦争を止めよ」の声と行動を一層強める時です。

私たちは決して、「だまされない」「あきらめない」「立ち止まらない」で、
そして、「しなやかに」「したたかに」「しぶとく」、歩み続けましょう。

第69回日本母親大会 in 和歌山 第1回実行委員会を開催

2月21日(水)、運営委員会開催、22日(木)第1回実行委員会が開催されました。横山さゆり現地実行委員長は、運営委員・実行委員に選出されました。石原久子副会長は、引き続き、実行委員となります。第1回実行委員会では、新役員が確認され、加盟団体から出された今大会への様々な要望を集約した内容が報告されました。これを元に、分科会はじめ全体会の概要が決まっていきます。

つれもていこら～ 和歌山へ
つれもてきてね～ 紀の国へ

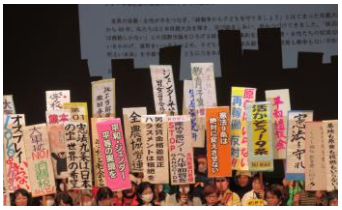
＊全国の実行委員さん向けに、観光、食、交通などの案内・紹介をしていく新コーナーで～す。８月号まで連載していきます。（２Ｐへ続く）

和歌山県は、南北に細長い地形で、山と海、温暖な気候、その気候を利用して**多種類の柑橘類、柿、桃などの果物**が豊富です。**梅、柚などを使った加工食品**も豊富で、県内だけの柑橘である**ジャバラは、菓子、飴、ジュース、粉末の健康食品**として売り出され、人気が高まっています。醤油発祥の地として、**質の高い醤油や味噌、金山寺味噌（おかず味噌）**は古くから有名ですが、最近は、**嗜好品**にもなり売り出されています。また、**新鮮な魚**が食べられ、**刺身や寿司の他に、多種の干し魚やしらす**などが安価で手に入ります。

是非、新鮮でおいしいものをたくさん食べ、おみやげ品選びも大いに楽しんでください。

まずは、和歌山市内の半日観光コースを、数カ所、紹介していきます。（１Ｐより続き）
Ａ和歌山城ホールの南に見えているのが、**徳川御三家紀州藩の居城だった和歌山城**です。横断歩道を渡り、**西の丸広場**（観光案内所で、案内地図を手に入れるとよい）から**紅葉渓庭園**を突っ切ると、八代将軍となった吉宗が源六と呼ばれた少年時代に駆け登って遊んだ？城の石垣前に出ます。その石垣に沿って、左方向に歩いていくと、**天守閣に登る石段**が見えてきます。また、紅葉渓庭園の中をすぐ左に曲がると、**御橋廊下**に至ります。ここを登り渡った所が**二の丸庭園**です。春は桜がきれいなのですが…。二の丸庭園を出ると、**伏虎像が鎮座**しています。その前を右方向に行って、**岡口門**まで歩くも良し、（**城内動物園**がある）、左方の**大手門（一の橋）**からけやき大通りに出てくるも良しですね。

第 68 回日本母親大会 in 山口　全体会オンライン視聴をして



＊毎日のように流れるガザのニュースには胸が痛みます。日本政府は、平和憲法を持つ国として、毅然として停戦・平和を表明してほしい。山口のたたかいのアピールは、音楽や歌を取り入れて、分かりやすかったです。

＊憲法学を学んだら、それで終わりではなく実践で確かめるという、清末さんの姿勢にすごく共感しました。それもあんな不安定な地域で。そこに生きている人たちと接して活動することで、憲法の自由に生きる権利、恐怖ではなく平和に生きる権利が、どれだけ踏みにじられているのか実感でとらえられたことだと思います。接した人たち一人一人の命を思うと、学ぶだけではなく何かできる事はないのかと考えられているだろうと思います。あの地域の歴史も少し分かったし、とてもいい講演でした。、
＊ガザの深刻な現状がリアルに話されていました。ニュースだけでは分からない現実、「地獄」という表現に胸が痛むだけでなく、悲しさがこみ上げてきました。なぜ、自分たちがされた迫害を、他者にしてしまうのか、人間の醜さを見る思いです。戦争に使う兵器やその他の武器に使用するお金を、人類の幸せのために使ったら、どんなに幸せな世界になることかと思いました。
＊記念講演で、ガザのようすが詳しく知れた。憲法 24 条がこんなに重要だとも知れてよかったです。小さな幸せを支える尊厳が守られる世界になってほしいです。

＊文化行事の神楽ですが、「しおり」を読めば、何十年か前に高校生以下の子どもたちにはたらきかけて、復活させたとのこと、それが現在まで続いている…すばらしい話である。（演じる前に、簡単にそんな説明が欲しかった）14 人それぞれ自分の役割を果たして舞っていて、その真剣な姿はなかなかのものと感じました。

第 68 回日本母親大会 in 山口に参加して　分科会の感想から

５気候正義を求めて～いま私たちにできること

日本はこの 100 年間で気温の上昇率が大きく、何年か後には 40°Ｃが当たり前になると聞いて恐ろしくなった。気候正義に名を借りての原発推進が行われてきたことなど、アメリカの世界侵略、日本支配の構図というとんでもない事実を知った。

アメリカ大企業べったりで、戦争を呼び込む現政権を早期交代させることが重要だと強く感じた。　Ｃ．Ｋ．

１みんなで子育てを！　～親子で遊ぼう　子どもたちに伝えたいこと

熊丸さんの「順調」は、マジョリティ（多数派）に向けられたものだなと思うし、「嫁にむかつく」「夫にイライラする」という発言は、せっかく来てくれた人たちが気分を害していないのか心配になりました。

「in 和歌山」の「次世代」の分科会では、やはり「これからの民主運動」を共に考えたり、世代間ギャップや「並走」の難しさを語り合ったりできる場にし、結婚や出産をしない人も、「よし！明日からもがんばろう！」となる場にしたいです。Ｓ．Ｍ．

12 金子みすゞの生涯と詩とジェンダー

みすゞは自死したが、それは女性に親権が認められない旧民法と関わっていること みすゞは自分の思いを詩に書き発表したいという強い意志を持っていたこと、自由に自分らしく生きられない女性の立場に不満を持っていたことが分かった。母親大会ならではのとらえ方でみすゞのことを聞けて良かった。Ｋ．Ｋ．

13（見学）長生炭鉱水没事故(加害の見える海)

「初めて長生炭鉱のことを知った」という感想が多かった。

加害の歴史は、学校では教わらないし、やはりしんどいので、避けたい思いもあったが、やっぱり向き合わなくてはダメだと思った。

「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の代表 井上さんの話に感動した。12 月 8 日に衆議院会館で国との意見交換会をし、「遺骨発掘・返還」を迫るとのこと、すごい行動力ですね。

Ｉ．Ｇ．

＊龍神地区では７名がオンライン視聴し、全員の感想が送られてきました。その１通～

山口は、故郷北九州の隣なので行きたかったなあ。日本大会は、愛知、秋田、石川/福井と３回行かせてもらい、ほんと、全部心に残って、今の自分の力になっています。現地の活動を直接聞くことで、感動と共感が生まれ、励まされました。

そして、みんな、全国に散らばって、それぞれの地域で、生命を大切にする母親運動を広げていくのですね。その力を信じ、私も、この龍神の地でがんばり続けます。

生命を生みだす母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます　Ｎ．Ｙ．

第 69 回日本母親大会 in 和歌山開催へ…「in 山口」からの学び・気づき

	良かったよう～	課題・工夫の必要
1	オープニング（合唱）	
2	文化行事(子ども神楽)　客席まで来て交流	長かった。時間設定をきちんと
3	山口の運動 練られた構成 バックの歌と演奏	映像の資料を集める必要
4	瑠璃光寺五重塔の絵	
5	全体会場　中央スクリーンの映像(プロ？)	記念講演の垂れ幕が小さかった
6	生花は立派だった　季節感	目立たず残念。置く場所を工夫
7	手荷物を預かってくれた	係が必要？
8		会場アナウンス聞こえにくくて
9	各地の運動交流　貴重な運動の報告に感動	長い。グループの人数が多すぎ
10	総合受付が広かった	目立つ表示や掲示物、スタッフ
11		会場入口の看板を目立つ場所に
12	現地要員の人がお揃いのＴシャツ	誰がスタッフか分かること大事
13	駅と会場が近かった	食事処のわかりやすい案内大事
14		物産展の場所が狭かった。女性トイレの確保。案合図の掲示
15	シャトルバスの運行	予約しているのに乗れなかった。他にも課題多し
16	見学分科会（長生炭鉱水没事故）ストーブとお茶を用意。移動バス内の説明も良かった	雨天の場合の対応を考えておく必要
17	教育会館会場からの母親行進、良かった。銀杏並木がきれい。大荷物を駅へ運んでくれた	「ジェンダー」の会場が狭く、机もなくメモが取りにくかった

・・

3/24(日) 第 57 回近畿ブロック母親運動学習会 in 京都 に集まろう

コロナパンデミック前までは、長らく１泊２日で開催されてきましたが、その内容を１日でということになりますので、長時間となります。

どうか、時間を調整してのご参加をお願いいたします。

日　程　３月 24 日(日)11:00～12:30　全体会　13:30～16:00　分科会

内　容　**全体会　講演『戦争あかん！　世界がひとつになるために』**

分科会　社会保障・教育・原発・食・平和・母親運動の 6 分科会

＊「母親運動」の分科会には、日本母連から小松久子事務局長が来京

会　場　京都教育文化センター　京阪電車神宮丸太町５番出口より徒歩で数分

＊お問い合わせ・参加申込みは、各郡市事務局へお願いします。案内の詳細については、ちらしを参照してください。